

平成 23 年度通常総会

総務委員会

東北地質調査業協会の平成 23 年度通常総会は、平成 23 年 5 月 18 日に仙台市宮城野区の「仙台ガーデンパレス」に於いて開催されました。会員総数 47 社の内、出席 32 社、委任状提出 14 社で過半数以上の出席が得られ、ここに総会成立を併せて報告致します。

通常総会は、平成 22 年度の事業報告と収支報告、平成 23 年度事業計画案と予算案、役員変更の審議が主な内容であり、以下に概要を報告します。

1. 早坂理事長挨拶

本日はお忙しい中、東北地質調査業協会の平成 23 年度通常総会に出席していただき、大変ありがたく思っております。

3 月 11 日に東日本大震災が発生し、全地連並びに関係協会や関係方面の方々から多くの励ましの手紙や義援金をいただいております。皆様方からいただいた義援金は、会員の方々そして被災された方々の為に有効に使って行きたい所存でございます。

大震災により幸い会員の死亡や社屋の流出等は聞いておりませんが、同業者の中には被災を被り社員や親戚が亡くなるというような、これまでに無い多大な被害を業界関係に残しております。

また市や町が津波で一瞬に無くなり、災害の復旧・復興にはこれから大きな時間と費用が必要になります。そしてまた我々の持っている最先端の技術も必要になってきます。我々の技術が復旧・復興そして被災者の為に少しでもお役に立てればと思っております。

当協会におきましては地震発生直後から災害対策本部を立上げ、協会員の状況把握、そして国と宮城県から災害協定に基づく要請がありました。国については協会を通さず各事務所から各企業へ直接要請が行く事になりましたが、宮城県においては

土砂災害の緊急点検を行い、協会を通じて宮城県の会員に要請を致しました。また応援として秋田県と山形県の会員にもご協力をいただき、宮城県内の土石流点検約 2400 箇所と地すべり点検調査を約 100 箇所行いました。

災害が非常に大きいため、今後協会として何をすべきか災害対策本部と理事会で進めて行きますが、会員の皆様と前向きに何が必要なか考えて行きたいと思っております。昨年の総会でも「我々の仕事がいかに大事であるか、自信をもって PR しようじゃないか」とお話ししましたが、更に大きな声で我々の仕事がいかに大事であるか、これからの復旧・復興に向けて一番大事な仕事をしているよ、と我々自身そして社員・家族・関係する方々に理解してもらい良いチャンスでもあり、自分たちの力と信念が問われる時期だと思っております。

今日の総会では前年度の事業・会計報告、そして今年度の予算・事業報告がございまして、皆様方からの忌憚ない意見をいただき審議をしていただきますようお願い致します。

「明るく 活力のある元気な協会」会員による東北の復旧・復興を目指すとともに、会員の皆様の益々のご多幸を祈念して総会開催の挨拶とさせていただきます。

2. 議事

議長：早坂理事長
議事録署名人：基礎地盤コンサルタンツ株式会社 新田洋一氏
株式会社サトー技建
櫻井勝三氏

第 1 号議案 平成 22 年度事業報告承認

大友総務委員長から「会員数」及び「会員、役員、委員会に関する事項」、早坂理事長から「全地連に関する事項」、大友総

務委員長、高野技術委員長、高橋広報委員長から「対外関係に関する事項」と「東北地質調査業協会に関する事項」の報告があり、第1号議案は異議なく承認された。

第2号議案 平成22年度収支会計報告及び監査報告承認

大友総務委員長から平成22年度の収支報告、菅井監事から監査報告があり、第2号議案は異議なく承認された。

第3号議案 平成23年度事業計画案

冒頭、早坂理事長より、事業計画案については震災前に作成したため、震災による影響で各事業がどのように変わるかは、まだ不確定な部分が多くある旨の説明があった。

その後、事業計画案について各委員長より報告があり、異議なく事業計画として承認された。

第4号議案 平成23年度予算案承認

大友総務委員長から、総額27,800,000円について提案説明があり、異議なく承認された。

第5号議案 役員改選について

大友総務委員長から、下記役員変更の報告があり、異議なく承認された。

理事の変更(新任)

理事 青森県 坂本 興平

「大泉開発株式会社」

理事 福島県 菅野 昭夫

「地質基礎工業株式会社」

その他 規約改正について

地質調査業協会規約第16条の理事は宮城県5名、各県1名になっているが、同第14号を充足する形で、理事を各県1名以上に改正した方が宜しいのではないか、

との議案が提案され、また、監事は宮城県2名と規定されているが、こちらも監事2名に規約を改正した方が宜しいのではないか、との議案が提案され、いずれの規約改正も承認された。

議事は滞りなく終了し、総会は幕を閉じました。

総会終了後は懇親会に席を移し、早坂理事長挨拶の後、大友理事の乾杯発声で宴会となりました。各テーブルでは震災後の苦労話や近況を確認しあうなど、会員相互の親睦を深め、大いに盛り上がりました。最後に奥山副理事長の締めでお開きとなりました。